

JECC 2016 年度優秀保守技術者表彰式典を開催

保守技術者の日ごろの努力を称え、感謝



挨拶する細野社長

JECCは10月11日、東京・経団連会館カンファレンスにおいて、「2016年度優秀保守技術者表彰式典」を開催した。「情報化月間」の一環として毎年行っている行事で、今年45回を迎えた。式典には、今年度の優秀保守技術者に選ばれた25グループ、標語・感想文の入賞者が招待され、JECCの細野哲弘社長から表彰された。

表彰式典は、お客様のコンピュータ・システムの安定稼働を維持するために、トラブルを未然に防ぐ予防保守活動をはじめ、万一故障があった場合、昼夜の区別なく休日も返上し、システム復旧のために努力している保守サービス技術者や、支援関係者の日ごろの努力を称え、感謝するもの。JECCが1972年から実施している。

優秀保守技術者として表彰されたのは、ユーザー及びメーカーから高い評価を受け、推薦された25の担当保守グループのメンバー245名。各グループから代表1名が出席し、表彰を受けた。合わせて、JECCが募集した「保守サービス向上月間標語」（応募数1万8,287編）の中から

選ばれた最優秀賞1名と優秀賞2名、「保守サービスに関する感想文」（同488編）から選ばれた最優秀賞1名、優秀賞3名も表彰を受けた。

式典ではJECCの細野哲弘社長挨拶の後、表彰が行われ、来賓の経済産業省商務情報政策局の渡邊昇治情報政策課長、一般社団法人電子情報技術産業協会の東原敏昭会長の代理として川上景一常務理事が祝辞を述べた。また、受賞者を代表して、株式会社沖電気カスタマードテック中国支社サポートサービス第二部岡山サービス課の和田晃宜氏が挨拶を述べた。

そして、株式会社日本総合研究所首席研究員の藻谷浩介氏が「人口からみる日本経済とITの未来」をテーマに記念講演を行い、生産年齢人口の減少と高齢者人口の増大によって急激に変動する日本におけるITの重要性やデータを読み解くことの意味について語った（講演要旨は、2017年1月発行の新春号で掲載予定）。

細野哲弘社長の挨拶（要旨）

政府におかれましては、10月を「情報化月間」と定め、情報化に対する正しい理解と認識を深め、健全な情報化の進展を図ることを目的に、毎年全国各地において、多彩な行事を実施しております。

私どもJECCにおきましても毎年10月を「保守サービス向上月間」と定め、弊社賃貸資産の保守サービス状況を総点検するとともに、システムの安定稼働に日夜ご努力をいただいております保守技術者の方々、並びに、保守サービス向上に関する標語及び感想文の優秀作品に入賞された方々の表彰を行っております。

昼夜を問わず、お客様のITインフラをお守りする皆様の保守サービス業務は、社会にとって欠くことのできない最重要の仕事であり、そのご努力は、弊社の保守状況調査においても、お客様からの高い評価として表れております。メーカー各社様並びに保守サービス各社様のご支援と、保守サービス技術者の皆様の多大なご努力に心より敬意を表し、本日表彰を受けられる皆様の栄誉と日頃のご努力、ご労苦に心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

さて、弊社は近年の情報の技術革新に対応すべく、お客様とメーカー及び協力各社様のニーズにお応えするサービスの提供を目指して取り組んでおります。弊社は、ブランドスローガンの「ITとファイナンスを、プロデュース。」を実践する企業として、お客様にご満足いただけるように尽力してまいりますので、皆様方のより一層のご指導、ご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

経済産業省 商務情報政策局

渡邊昇治情報政策課長の祝辞（要旨）

表彰を受けられた皆様、本日はおめでとうございます。

この表彰式典は、今回で45回目ということで、ここまで支えてこられた皆様に敬意を表したいと思います。

この機会に、私共経済産業省のIT分野での取り組みについて少しお話させていただきます。大きく分けて施策の柱は三つあります。

IT分野は技術の進歩がとても速く、最近ですとビッグデータ処理やAIなどの新技術が出てきています。その中で新しい取り組みにトライされる方を支援するのが一つの仕事であります。二つめは安全・安心。個人情報漏れないようにするとか、サイバー攻撃に対して強いシステムを作るということもありますが、いつでもつながる、止まっても直してもらえる、これ以上の安心はありません。これは本日ご出席の皆様方のご功績だと思えます。そして三つめは、まだまだ不足していると言われているIT人材の育成です。



「保守サービス向上月間標語」
最優秀賞の表彰を受ける
柴田朋之氏（左）



「保守サービスに関する感想文」最優秀賞の表彰を受ける
古沢明彦氏の代理横田和弘氏
（左）



挨拶する経済産業省の
渡邊昇治情報政策課長

1990年代に「IT革命」が
言われ始めて、テレワークが
進んで職場に行かなくても仕
事ができるようになるのでは
ないか、と思っていたのです
が、現実には逆でした。むしろITは、離れていても仕
事ができるからこそ、人とのコ
ミュニケーションが大切であ

り、皆様のお仕事は、まさにそういうことを象徴してい
るよう感じられました。短い挨拶ですが、本日はおめ
でとうございました。

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA） 川上景一常務理事による同協会会長祝辞（要旨）

本日は、第45回優秀保守技術者表彰式典が、このよ
うに盛大に開催されましたことをお慶び申し上げるとと
もに、伝統ある賞の受賞者として表彰を受けられた皆様
に、心よりお祝い申し上げます。

私共、電子情報技術産業協会（JEITA）は、10月4日か
ら7日まで情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、コン
ピュータソフトウェア協会（CSAJ）とともに、CEATEC
JAPAN 2016を、CPS/IoT Exhibitionとして、「つながる
社会 共創する未来」をテーマに開催しました。今年の
CEATECでは、主催者特別企画として、金融、観光等の
異業種10社の共同展示「IoTタウン」を実施し、「未来の

街」を展開いたしました。

CPS/IoT社会の実現にあ
たっては、さまざまなビジネ
スやサービスの分野で大量の
データの利活用がネットワー
クを介して行われるため、IT
技術のさらなる進展が求めら
れる一方で、利用者からは、
常に安心・安全・確実なハー
ドとソフトの情報セキュリティが求められてまいります。

株式会社JECCの最新の調査結果によりますと、ハード
ウェアの予防保守への満足度は非常に高いレベルとうか
がっておりますが、皆様方におかれましては、保守サー
ビスのさらなる向上を通じ、CPS/IoT社会の実現と我が
国の情報技術の発展に貢献されることを期待しておりま
す。本日は誠にめでとうご
ざいました。

受賞者代表の和田晃宣氏挨 拶（要旨）

本日は、私たちのためにか
くも盛大な表彰式典を開催し
ていただき、誠にありがた
く、厚く御礼申し上げます。

先程来より、株式会社JECC
取締役社長細野様を始め、ご



挨拶する電子情報技術産業
協会の川上景一常務理事



受賞者を代表して挨拶する
株式会社沖電気
カスタマアドテックの
和田晃宣氏



表彰式典終了後に記念撮影する受賞代表者一同

来賓の皆様からの心温まるご祝辞と励ましのお言葉を賜り、身に余る光栄と存じ、受賞者一同深く感謝申し上げます。

私共グループは長年にわたり、銀行様に導入いただいております営業店端末システム、ATM、ネットワーク機器のハードウェア保守を担当しております。お客様が安心してお使いいただけるよう、お客様に寄り添い、また、細心の注意を払いながら、保守作業に従事してまいりました。

昨年度、10月から次期システム移行に伴う、全店舗の端末機器入れ替え作業をミス・トラブルなく完遂いたしました。私たちは、常に「お客様を好きになろう そし

て感動を」を合言葉に、どのようにすればミスを防げるか、お客様の遵守事項を履行できるかを日々メンバーと話し合い活動を行い、この度、お客さまから高い評価をいただきました。これからも、お客様の真のパートナーとして、価値あるサービスを提供していくために、誠心誠意努めてまいります。

私たちは、本日の栄誉を深く心に刻み、この賞の名に恥じることはないよう、さらなる自己研鑽に努めてまいります。今後とも、ご列席の皆様方よりなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、感謝のご挨拶とさせていただきます。

記念パーティー



挨拶する経済産業省の
滝澤豪情報処理振興課長



挨拶する経済産業省の
三浦章豪情報通信機器課長

優秀保守技術者表彰式典に続いて、記念パーティーが開催された。優秀保守技術者として表彰されたグループの代表者と標語・感想文の入賞者、各受賞者の所属する保守会社の社長や役職者、来賓など多数が参加した。

はじめに経済産業省商務情報政策局の滝澤豪情報処理振興課長が登壇。「表彰の概要を拝見すると、とにかく多岐にわたっており、皆様方の活動が社会全体に広がっていることを実感いたしました。活動の一つひとつが世の中のIT化の流れに非常に大きな役割を担っており、本当にお客様のことを考える皆様方の姿勢がユーザーの皆様の手をとりえて、産業界全体、社会全体でIT化が進むきっかけになるのではないかと考えております」とお祝いの言葉を述べた。

続いて、経済産業省商務情報政策局の三浦章豪情報通信機器課長が、「皆様の日々の努力がこういう形で認められたことを心よりお慶び申し上げます。感想文を拝読して、相手のために何ができるかを考え続ける姿勢に感銘を受けました。安倍政権の成長戦略、「第四次産業革命」で東京オリンピック、パラリンピックに向けて世の中のIT化が進み、産業も変わる、生活も変わる、そうした変化を現場で支えているのが皆様方だと思います。皆様方の今後のご活躍を祈念いたします」と乾杯の発声を行った。参加者たちは、情報交換や記念撮影などをしながら、和やかな歓談のうちに親睦を深めていた。



近況報告や情報交換を行いながら、親睦が深められた